

トピックス **ぶらす**

8/23

歴史を物語る建物跡や遺物が多数出土

中世や古代の建物跡などの発掘調査が進められている石森館跡で8月23日、発掘の成果を紹介する現地説明会が開催されました。説明会では、県教育委員会の担当者が発掘された平安時代の竪穴住居跡や貞治三（1364）年と明記された石製の供養碑など出土品について説明し、地域住民や関係者など見学に訪れた人は興味深く聞いていました。



▲館跡を見学しようと多くの皆さんが参加しました

8/31

登米市の民俗芸能が一堂に集う

各地区の祭りや年中行事としてその土地に長く受け継がれ演じられてきた民俗芸能を多くの人に知ってもらおうと「第4回登米市民俗芸能大会」が8月31日、市南方農村環境改善センターで開催されました。会場では神楽や獅子舞、おいとこ踊りなど多くの民俗芸能が保存会によって披露され、会場に訪れた観客を魅了していました。



▲見事な演舞を披露した須賀神流芦倉獅子舞（石越）

9/3

結婚対策や市政に若者の意見を

若者の声を市政に取り入れ、今後の市政に反映させようと設置された若者交流モニター。その第1回会議が9月3日、市役所庁舎で開催されました。モニターは20代の地域住民17人で構成され、会議前に布施市長から委嘱状が交付されました。今後、モニターの皆さんからは若者交流・結婚推進事業などに意見をいただくことになっています。



▲市政に若者の考えや意見などが生かされます

9/13

作製作業を通して各校生徒が交流

宮城県高等学校定時制・通信制「生徒の集い〜かかしを作ろう!〜」が9月13日、佐沼高校を会場に開催されました。当日は県内から13校の定時制・通信制の生徒たちが一堂に集い、8班に分かれて「高校生活」をテーマにかかしを作りました。生徒は勉強や部活動、アルバイトなどの高校生活の様子を話し合い、工夫を凝らしたかかしを作りました。



▲協力しながら、思い思いのかかしを作製する生徒

女性団体の連携を目指して

迫で「はさま女性のつどい」を開催

第54回はさま女性のつどいが9月6日、迫公民館で開催され、迫地区の9団体から約120人が参加しました。このつどいは、各団体の交流を目的に毎年開催されているもので、今年は市民生活課の職員を講師に「登米市の地域医療の現状と課題について・市民が育てる地域医療」と題した講演が行われ、地域ケア体制づくりの課題やほかの自治体での取り組みなどが紹介されました。参加者からは「医療や介護に対する地域住民の取り組みについてわたしたちも考えていきたい」といった感想も聞かれました。



▲迫地区の9つの女性団体から約120人が参加しました

がんばる選手に熱い声援

米山で秋のスポーツの祭典が開催

米山各地区のコミュニティ運動会が、9月7日に吉田・西野両地区、9月14日に中津山地区で開催されました。勝ち負けにこだわらず、みんなで楽しめる行事として各地域に定着しているこの行事。バラエティーに富んだプログラムに、応援席のテントでは笑い声あり、手拍子ありで楽しく観戦していました。競技に参加した皆さんは、楽しみながらも真剣そのもの。大勢の皆さんが秋空のもと、気持ちの良い汗を流しました。各地区の優勝行政区は次のとおりです。【吉田】新田【西野】新町【中津山】猪込



▲バラエティーに富んだ競技を楽しみながらも真剣に競技する参加者

交通安全への努力に感謝状

登米で交通死亡事故ゼロ2500日達成

旧登米町域で平成13年11月10日以来継続している交通死亡事故ゼロ継続日数が、9月14日をもって2500日を達成したことを受け、9月16日に登米総合支所で感謝状贈呈式が開催されました。式では岩間県警察本部交通部長から「この交通死亡事故ゼロ継続期間を一日でも多く延ばしていただきたい」と齋藤支所長ら出席者に対し、感謝状が贈呈されました。この2500日という継続期間は、市内では第1位、県内の旧自治体単位では第4位、現自治体単位の中でも堂々の第5位に位置しています。



▲岩間県警察交通部長から地区の努力に対して感謝状が贈呈されました